

昭和45年10月1日発行 第140号

東頸城郡松代町公民館

印刷 极代印刷所

話松代1番

凊 次

館長 富 沢

報告事 nK 次わ九 の議題が たり第三回定例議会が召集さ月二十四日、二十五日の両日 項 議決されまし た。

松代町議会議員辞職許可に つ



合により辞職を願めている。 7 い身 出上 の こ都

松 代中学校れを許可 Þ 舎改築請願審議

災害復旧費の一般会計補正子(町長専決)に gの国庫負担金の 正予算 による四十五年度

マー関格代 一場が限情 教育情 大伏 詽 長岡 K

委員 ともなう事項 柳達太郎さん です 委員会委員 任満と の任

うことになり 変更について新潟県町村退職手当組

ŧ

)、三三五千円を追立予算(才入才出に7四十五年度松代町

 \odot 取 加

町繰県市 機製支出村 金出村 金税 です。 円円円円

•

が主なるも

民生 統選総務 二〇五五 三〇千 千 千

程 イは児童福祉費 六六〇千四 六六〇千四 六二〇千四

町 画が 0 決る 過疎地域振興計

がれけ疎りてる地 りまし 兼 、おりましたが、 心域対策緊急措置がねてより過疎地は た。 画 か 法域 の程出来上が種々検討さ伝の適用を受

をうま: 的なものです。 厚生の全般にわたって中 厚生の全般にわたって中 計画によりますと、幸って実施を見るわけで この計 て立案されたも 画は んもので、ここう五ケ の で、年次ので、年次ので、年次ので、年次ので、年次ので、年次ので、年次のですが、これのですが、これのでは、日本 社はそを画と 総合

こから考えを進めるべくしたものけですが、将来像をえがいて、そいという希望の早期実現にあるわ町がこうもしたい、あゝも考えた町がこうもしたい、あゝも考えた です。

進むと、 開発を阻力の事 基本的施策はることになろうということです。なり、農業の技術革新も行なわれ 通勤労働者として定着することと と、青少年層は近接都市へのはこの問題も交通通信整備がの事であるが、特に交通施設の事であるが、特に交通施設を阻害する要因であることはを阻害する要因であることはたい。

交通通信体系の 整備

装等を実施する 要請する。 に道 中路 \mathcal{O} | だ対してこれが促進方を強整備が無雪化の鍵となるの 〒心集落と部落間の暗網の整備に力点な を実施するよう、 巾員

育 ラの ンた ドめ のに 建設を促生 を建設を図りては、中 を建設を図ります。 促進すいを図り バれスる 中えるる

③生活環境施設等厚生施設 易水道 住民の 坦の普及、生活廃棄設の整備に重点をおの生活水準向上のな 生活廃棄物、 た X 0 、 保簡環備

⑩ **⑨** 教消

育費

円

教育総務費 六三、

4 農林 場を図 老人福 て住みよ 設等の 水産業、 ŋ 祉 消防防災のため、 い消 環境づく の の他の産業の振りでいる。そ人集会のの、老人集会のの、老人集会ののではない。

基 興 幹 を促 促進するため、豊農業の企業的な 農業基盤整備の経営への移行

> 機械化の基礎固め、 等のものが挙げられて をはかる。 をはかる。 をはかる。 をはかる。 をはかる。 就業先の促進、 家内工 の固 定業力化の化

事を期待 つくりが早期にたさく取上げれています。 たしま

和四 総額 十四年度決算概要 三億五千 五百拾四万円

(5

た予 が算昭 なり となります。 才出 ŧ 和 調定額が三七、 田 三五、五一四六千円人 三七、三六七三千円ました。これに対し決算額は 額が三七、 四十四年度の 三五 七、五四四万円と 二二六万円でし 度の一般会計は、

①議会費 通 、そ です。 決算における支出済額は次の の款別才出は図表の通りです

②総**務費** 五八、七 七七六千円 六二千円 二四三五千円

(3) 七、五二·四八千円 六 七八三千円 九二三千円八六〇千円 五二六千円

⑥農林業費 労働諸費 (⑤労働費 五〇、 ⑧ ⑦ 土 商) 五木型 土木型 路木型 住宅費 一、道路橋梁費四〇、 清掃費 林業費 · 管理費一二、八 五〇 三七千円 八六〇千 二五〇千円 一五〇千円 一十円 六二三千円 一五三千円八八四千円 五五 六千 との他 せの他

摄会卷 务附金 役生形 自動車港交付金 化 糧 越盘 生長 分担金 試 傷卷 2 图座就置 災當復旧电 果支出體 七木布 市町村税 総務長 農 林紫亮 教育 ŧ 地方交付税 昭和44年度松代町-般全計 決掌 総括 图表

①災害復旧費 二二、管理費 三〇 ⑫公債費 となっています。 教材センター 中学校費 石小学校費 五 災害救助費 農林施設災害費 五 六三二 -·教員独立寮 二、六八五千円 二、六八五千円 二、六八五千円 三〇八千円 六 七五千円 千円 一千 五、九七円 户 一二八

町の文化財第一号に

松苧神社々殿が内定

七日 0 文 か財 れまし 調査審議委員会が てありまし 八八月町

今後町にうもれた文化財の今後町にうもれた文化財のとその保護のため、どの様かで進んだらよいか、など町を定を受けるべく申請書が提出説明を兼ねた審議が行なわれたとその保護のため、どの様かとその保護のため、との様かとしていた。 まし た。

松苧神社々 K よるも (建築様式及歴史的 0

馬頭 観 音像 (応永二年 室町 初期

第の 0 軍配 (上杉謙信奉献の

(室町

一 当指定を受けられるものな員の ですが、松代町にも数多くの文 のですが、松代町にも数多くの文 化財が人に知られずに、ねむって にることでしよう。これらの保存 にき、大切な仕事の一つであるこ とを町民の皆様からも知っていた とを町民の皆様からも知っていた とを町民の皆様からも知っております でき、ただ先人の遺産として称え なだけでなく、後世に伝承して に、おむって でカ し願 たい後 ら代れの

あ り方は? なたの自転車

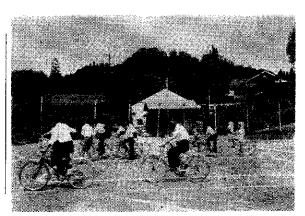
町運転者協会が 自転車教室

た。自なとして 察署の、 九 自転車 月 の十六・ 力のもと 一教室を開催。町内小・中半 転者協会が、十七日の B催いたしまし中学校を対象 安全教育の一 安 日に 塚

もの交通事故対策にすり、兎角危険を叫ばれり、兎角危険を叫ばれまなどを熱心に指導、転車の乗り方、やさしい道路 会場に、 あげ 中学校 十六日 まし た。 翌 では、雨 + 七百名以 へ、やさし -七日は松 -七日は松 -10い道路 午の 日は松代・ 大れ 八きな効果を以上にものぼ 両日参加の 両日参加の が近年で 重点中、 学 学 や で校奴 を奈

ど、町ぐるみの運動を展開し対策協議会も印刷物を配布す交通安全母の会も各戸にチョー尚、交通事故皆無を目ざし ぎし しました するな もし、 町

ただきたいとの関係者のお話でしただきたいとの関係者のお話でしり、その効果が望めないのですか人一人の心掛けと、協力のない限度動を行っていますが、これも一運動を行っていますが、これも一度の皆さん方で一人の事故者も無民の皆さん方で一人の事故者も無民の皆さん方で一人の事故者も無民の皆さん方で一人の事故者も無民の皆さん方で一人の事故者も無



暑さの を語る 中で 力強く 大松博文氏 叫

オリンピック、女子バレーボールオリンピック、女子バレーボールで、豊富な人生経験から、自分のて、豊富な人生経験から、自分のて、豊富な人生経験から、自分のおえ方、若者の望ましい考え方等利の時間半にわたり熱辞をふるわれました。 れました 約一時間 て京監督 た。 大会が松代 |年問題協議会主僅の「家庭の日」||八月も終りの二十九日、町の青 の特別講演は、前東京小学校で行なわれまし

たことを係 る姿がみら つくし、真険なまなざし日聴衆は広い小学校体育 んでい 内容 まし た 0) で館 ぁ

畆

地 教

員

住

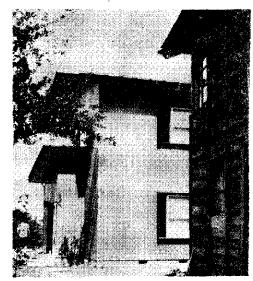
宅

清 水、 孟地に教員住宅が

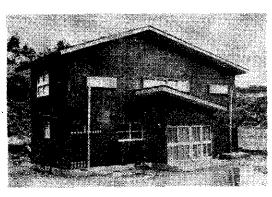
二階建で、内部仕上げもす住宅が出来ました。両方とこの程新しく清水と孟地 ます。 ŋ 先生方が 内部仕上げもす [~]早く ₺ 移つら つつられているすっかりのとも木造品地に教員

月三日 中村工 八月二

かの 境も良い とも と思います。後教職員の宿問題に一役い所に建てられていますい所に建てられています



 \rightarrow 清 水 教 員 住 宅



(3)

真黒になった子供達

利用 者は延一万三千五百名

イドもひっそりと静まりかを終り、今人影のないプー 吹き通る九月 ます 一町民第一 日 から皆様に利用 ナ その利 えって 利用いた れい 利用いた

ッただちに利し竣工式を十1 Pに入ったこ 八日に終え、

りただす!
ものですが、この間の利用す!
ー三五〇四名という、当初の予想
今年は最も利用が少なかったの
られ、待ち望んでいたこのブール
の必要性を大きく感じさせられま
した。比較的暑さが強かった七月
した。比較的暑さが強かった七月
した。比較的暑さが強かった七月
こる日も出、管理者も
、でしたが、

運営しやすかったと関係者が規則を守ってもらったので、大きな故もなく、プ ール使 て まし た。 が語って、一大変に、一大変に、一人の

いました。してお役に立った。民の皆様の体力 次 (三〇日間) の通りです

あ たの体力年令は 1

十月十日に壯年スポーツ・テスト

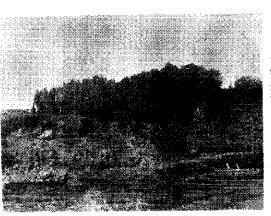
グドリブル、急歩等の種目です。横とび、垂直とび、握力、ジグザの位あるのかを知るもので、反復りました。これは自分の体力がどッ・テストを今年も行うことになッ・テストを今年も行うことになっ、テストを

H ド青年の主張

新潟県コンクー ル応募規定

青年が何を感じ、 何を考えてい

により 学級増になります。 1



国道十日町 大伏間

円で出来上ったものですが、これ工しました。この増築は三九一万松代保育所がこの様に九月十日竣性から増築を望まれていた、町立生から増築を望まれていた、町立

松代保育所増築なる

拡張工事初まる

を徒歩連絡でで低橋から山に向っていますが、なっていますが、なっていますがでれる。カラナー月十五日がある。 月十五日まで交通止めに伏・名ケ山間は九月五日が行なわれています。に向って、今懸命の道路に可って、今懸命の道路 折り返れ、バス し 箇 に 所 に 日

> 的として、ことしも、青年の主張きり伝える技術をみがくことを目青年が、自分の意見を人々にはっるかを、一般の人々に強く訴え、 問いません。
> 世別、学歴、職業を加資格は昭和二〇年一月一日までを国コンクールを行います。全国コンクールを行います。 予歴、職業を7一日までに十一月一六日

課題は、

A青年として訴えたいこと D職場(学園)で考えること Cわたしの青春

よう を選ん 詰三枚くらい) う意見をまとめ原稿を(四百字選んで、五分以内で発表を終る出場希望の方は、このうち一題 十一月九日(月)ま

天町 \wedge 杉 送

n

くわしい から、 ら、ご希望の方は、お申しい応募規定と応募票があり

ます こみ下さい

ます。

今年も収穫の秋が:

とかく話題をにぎわした今年のとかく話題をにぎわした今年のところです。 一部では減収も伝ところです。 一部では減収も伝ところです。 一部では減収も伝ところです。 とがく話題をにぎわした今年のとかく話題をにぎわした今年の

